Title	最近経済文献
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1933
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.27, No.6 (1933. 6) ,p.859(77)- 885(103)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19330601-0077

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

オ自身の書簡がある。それは一八二二年三月三日附ジャン・バチスト・セエに與へたもので、これは從來はセエの往復書簡集中(“Mélange et Correspondance d'Économie Politique de J. B. Say” Paris 1833)に其佛譯文のみが掲げられてゐたものであるが、其原文全文が發表されたのは今回が始めてである(其摘要はジェエムス・ボナアの作つたものが彼れの編纂に係るマルサス宛てリカアドオ書簡集に掲げられた)。

「通貨問題に關する短篇手稿」は凡そ上述の如き内容を有するものである。固より前年發表の「マルサス評註」ほどの價值を持つものではないが、而かも猶ほそれがリカアドオの生涯及び其著作に關する記述の或缺陥を補ふに足るものであることは疑ない。彼れの新聞寄稿の從來全く傳記者に依て傳へられなかつたものが、而かも三篇迄其死後一世紀を経て始めて発見せられ、考定せられたことの如きは校訂者の爲めに深く慶賀せざるを得ない。「マルサス評註」の如く其原稿の存在したことが明かでありて見失はれたものを発見したことも亦た別様の愉快を感じしむるに相違ない。リカアドオ研究者に取つては久しく「マルサス評註」の手稿とリカアドオのジェエムス・ミル宛て書簡とが二つの大なる缺乏であつたが、その一は既に前年に満たされ、更に其以外に豫期の收穫も今回公にせられた譯である。残る一つものは遂に失はれたものとして終るや否や。吾々は探索者の爲めに切に其好運を祈らざるを得ないのである。

最近經濟文献

(昭和八年五月二十日調)

〔理論經濟學〕

- * 經濟原論 高田保馬著 菊判 日本評論社
- * 社會經濟原論 園田實著 菊判 丸善仙臺支店
- * 經濟學教程 レオンチエフ著 小原次郎譯 四六判…………… 希望閣
- * 資本論註解(第二卷) ローゼンベルグ著 淡徳三郎・直井武夫共譯 四六判 改造社
- * 常識經濟讀本 高橋渡著 四六判 南光社
- * ケインズ貨幣論(第三分冊、價格水準の動態) 四六判 鬼頭仁三郎譯 菊判 同文館
- 經濟理論と經濟社會學(福田徳三博士追憶論文集經濟學研究、七九—一〇〇頁) 中山伊知郎
- 資本主義經濟機構に於ける價格の職能(國家學會雜誌、四七卷四號、昭和八・四、三八—五九頁) 土方 成美
- 生活經濟價值序論(福田徳三博士追憶論文集經濟學研究、五一—七八頁) 宮田喜代藏
- 價值と經濟的ディメンション・ゴットルの價值論—(三田學會雜誌、二七卷五號、二七—七四頁) 氣賀 健三
- ヴァイルプラントの實踐經濟學(福田徳三博士追憶論文集經濟學研究、二七—三〇二頁) 山田 雄三

最近經濟文献

- 獨占價格の理論(經濟學研究、昭和八・三、一一五—一六六頁)…………… 栗村 雄吉
- 著積理論の書き改め(福田徳三博士追憶論文集經濟學研究、一七一—一八六頁)…………… 高田 保馬
- 經濟配分の問題—On the two principles of “the division and distribution of labour” (Adam Smith)—(福田徳三博士追憶論文集經濟學研究、一〇一—一五〇頁)…………… 大熊 信行
- 貨幣の價値の特性(福田徳三博士追憶論文集經濟學研究、二四三—二七六頁)…………… 梅田 政勝
- ケインズの貨幣理論(經濟學研究、三卷一號、昭和八・三、一—四八頁)…………… 高橋 正雄
- 「貨幣中心論」に對する修正の試み(福田徳三博士追憶論文集經濟學研究、一五一—一七一頁)…………… 杉村 廣藏
- 資本論は何故商品の分析より始むるか(唯物論研究、七號、昭和八・五、八一—八七頁)…………… 北澤 昂
- * Bodin, C.: Économie dirigée, économique scientifique. Paris, 1932.
- * Braithwaite, D. and S. P. Dobbis.: The distribution of consumable goods London, 1932.
- * Conrad, O.: Der Abbau der Preise als Weg zum Gesundung der Wirtschaft. Wien, 1932. 22 S.

七七 (八五九)

240 S.
 * Young, A.: Towns in England and Wales. London, 1932. 330 p. (London School of econ. and polit. science. 14. Ser. of repr. of source tracts in econ. and polit. science.)
 Bonn, M. T.: Lujó Bernano (福田博士追憶論文集經濟學研究 英文一—二頁)
 Johnson, E. A. J.: British mercantilist doctrines concerning the "exportation of work" and "foreign-paid incomes." (Jr. of Polit. Econ. 40, 6, 750-770. Dec. 1932.)
 Mommsen, W.: Zur Methodik der deutschen Parteigeschichte (Historische Zt. 147, 1, 53-62. Nov. 1932.)

〔社會經濟史〕

* 綜合文化史論 上卷 シヤール・リシエ著 間崎萬里譯 菊判 四八八頁
 * 古代文化史 プレスト著 間崎萬里譯 四六判四八二頁
 * 藝術と唯物史觀 ハウゼンスタイン著 阪本勝譯 菊判三〇八頁
 * 世界文化年表 本莊可宗編 菊判三五四頁 大東出版社
 * 商業史概論 平貞藏著 菊判三六二頁 巖松堂
 * 古事記神話の新研究 石川三四郎著 菊判二九七頁 曉書院
 * 日本衣服史 永島信子著 菊判六九四頁 芸艸堂
 * 江戸時代風俗史 江馬務著 菊判二二六頁 日本文學社
 * 改訂日本經濟史文獻 本庄榮治郎著 日本經濟史研究所紀要

(1) 菊判八九八頁
 * 明治大正大阪市史五卷論文篇 大阪市役所編菊判 日本評論社
 * 新編武藏國風土記稿(十) 蘆田伊人編 大日本地誌大系一四卷 菊判
 * 明治前期財政經濟史料集成第八卷 族祿處分錄、秩祿處分頭末略、秩祿處分參考書 大内兵衛・土屋喬雄校 菊判六〇五頁
 * 唯物史觀と客觀主義(歴史科學、二卷三號、昭和八・五、三三—四〇頁) 永田 廣志
 * 自然物獲得民に於ける遊浪移動生活の様相と其の原因(福田博士追憶論文集經濟學研究、五四三—五五八頁) 田崎 仁義
 * シュメルに於ける奴隸制成立期の研究(三、完)(社會經濟史學、三卷二號、昭和八・五、三一—四四頁) 井上 芳郎
 * ゲルマン古法のスケッチ(四、完)(法學、二卷四號、昭和八・四、四〇—五一頁) 栗生 武夫
 * 英獨に於けるハンザ同盟の活動(經濟史研究、四三號、昭和八・五、八三—一〇二頁) 賀川 英夫
 * 英國銀行生成史の二側面—ランド・バンク(福田博士追憶論文集經濟學研究、五九—一六二頁) 山下 宇一
 * チュードル王朝の穀物統制(經濟史研究、四三號、昭和八・五、二二—三九頁) 東 晋太郎
 * 英國阿弗利加會社と黒奴貿易(福田博士追憶論文集經濟學研究、五二—一五四頁) 野村兼太郎
 * 英國急進運動第一期概観—その發端より大革命勃發時まで(三田學會雜誌、二七卷四號、昭和八・四、四七—七八頁) 濱田 恒一
 * 獨立労働黨の成立と其の歴史的意義(二)(國家學會雜誌、四七

卷五號、昭和八・五、八二—一一六頁) 岡 義武
 * 十世紀に於ける Hochstift Brixen (Tiro) の土地並に奴婢取得(福田博士追憶論文集經濟學研究、五五九—五八九頁) 上原 專祿
 * ストラスブルグ第一都市法に關する若干の考證(福田博士追憶論文集經濟學研究、四四—一四七二頁) 宮下 孝吉
 * 獨逸經濟史概説(九)(經濟史研究、四三卷、昭和八・五、五八—七〇頁) 楠木 重三
 * フランス革命と國民運動—其の指導者とその性質—(三田學會雜誌、二七卷五號、昭和八・五、七五—九五頁) 小泉 順三
 * 演劇を中心とするルソオと「百科全書派」の對立(下)(唯物論研究、七號、昭和八・五、五〇—六一頁) 佐々木孝丸
 * レーニンの大フランス革命論(歴史科學、二卷三號、昭和八・五、七三—八三頁) イー、ト、キーン 西雅雄譯
 * アメリカ經濟史概説(八、完)(經濟史研究、四三號、昭和八・五、七二—八二頁) 堀江 保藏
 * イデオロギーとしてのアメリカ革命—アメリカニズム世界觀研究への序説—(唯物論研究、二卷五號、昭和八・五、六二—七三頁) 早瀬 利雄
 * 古代印度の文化と商業に就いての若干考察(經濟集志、六卷二號、昭和八・四、八二—九七頁) 大森英治郎
 * 印度貿易と産業革命(福田博士追憶論文集經濟學研究、三〇三—三二八頁) 東 晋太郎
 * 唐宋時代の市 福田博士追憶論文集經濟學研究、三八七—四二〇頁) 加藤 繁
 * 支那經濟變遷概論(滿鐵支那月誌、一〇年一・二、三合併號、昭和八・三、七八—一二三頁) 周谷城著 小島友千譯

古代社會の研究について(歴史科學、二卷三號、昭和八・五、二六—三二頁) 佐久 達雄
 * 古事記・日本書紀論(歴史科學、二卷三號、昭和八・五、八四—八七頁) 渡部 義通
 * 古代日本における「市」の起原と職能(福田博士追憶論文集經濟學研究、三二九—三五三頁) 福田敬太郎
 * アジア的生産様式の日本歴史への「適用」論に關して—早川氏所論の方法論的な吟味—(歴史科學、二卷三號、昭和八・五、四一—四八頁) 相川 春喜
 * 古記に見えたる兒童愛護(社會事業、一七卷一號、昭和八・四、六一—七一頁) 富士川 游
 * 中世に於ける硫黃の外國貿易と其産出(經濟史研究、四三號、昭和八・五、一一—二二頁) 小葉田 淳
 * 日本中世寺院法に於ける刑法(下)(法學志林、三五卷五號、昭和八・五、六一—七八頁) 細川 龜市
 * 職人の組織としての「座」の一考察(社會經濟史學、三卷二號、昭和八・五、一一—二九頁) 遠藤 元男
 * 大阪の荷受問屋二番組(經濟史研究、四三號、昭和八・五、四〇—五七頁) 宮本 又次
 * 本領安堵と封建制度との關係(法學論叢、二九卷五號、昭和八・五、一一—二二頁) 牧 健二
 * 仙臺藩の質物奉公(三、完)(法學、二卷四號、昭和八・四、五二—六五頁) 高柳 眞三
 * 兩替屋使用の古天秤の實驗的圖解(社會經濟史學、三卷二號、一〇五—一〇七頁) 三井 高維
 * 長崎平戸町人別帳二種(福田博士追憶論文集經濟學研究、四二—一四三九頁) 幸田 成友

壹岐の小崎蟹に就て (社會經濟史學、昭和八・五、六七—八八頁) 山口藤太郎
 天明以前の蝦夷地開拓意見(下) (社會經濟史學、三卷二號、八九—一〇四頁) 高倉新一郎
 徳川後期筑前地方に於ける石炭鑛業の發展(上) (社會經濟史學、三卷二號、昭和八・五、四五—六六頁) 遠藤 正男
 河内國柏原村荒地の開發 (經濟史研究、四三號、昭和八・五、一〇三—一四頁) 濱村正三郎
 維新史方法上の諸問題 (歴史科學、二卷三號、昭和八・五、二二—二五頁) 服部 之總
 石炭鑛業の發展—立法的基礎の變遷に關する一考察(上) (法政研究、三卷二號、昭和八・三、七三—一三六頁) 菊池 勇夫
 明治初年の自由主義 (福田博士追憶論文集經濟學研究、三五—三八五頁) 加田 哲二
 農家副業問題の史的考察 (歴史科學、二卷三號、昭和八・五、八八—九七頁) 櫻井 武雄
 * Cochran, J. C.: New York in the Confederation. An economic study. Philadelphia, 1932. 229 p.
 * Conwell-Evans, T. P.: Foreign policy from a back bench, 1904-1918. London, 1932. 185 p.
 * Deckesne, L.: Histoire économique et sociale de la Belgique depuis les origines jusqu' 1914. Paris, 1932. 527 p.
 * Deslandes, M.: Histoire constitutionnelle de la France, de 1789 à 1870. Vol. 1. 2. Paris, 1932. 794; 766 p.
 * Foreign Office. British Documents on the origin of the war, 1898-1914. Ed. by G. P. Gooch and H. Temperley. Vol. 8. Arbitration, neutrality and Security. London, 1932.

* Glover, J. G. and W. B. Cornell: The development of American industries. Their economic significance. New York, 1932. 932 p.
 * Greene, E. B. and V. D. Harrington: American population before the Federal Census of 1790. New York, 1932. 250 p.
 * Inglot, S.: Essai sur la vir rurale et les colonges d'Alsace (11-13. siècle). Strasbourg, 1932. 224 p.
 * Jastrow, L.: Weltgeschichte in 1 Bande. Berlin, 1932. VIII. 482 S.
 * Langer, W. L., and H. F. Armstrong: Foreign affairs bibliography. A selected and annotated list of books on international relations 1919-1932. London, 1933. 600 p.
 * Schürer, G.: Die Anfänge der abendländischen Völkergemeinschaft. Freiburg: 1932. 319 S.
 * Simiand, F.: Recherches anciennes et nouvelles sur le mouvement général des prix du 16. au 19. siècle. Paris, 1932. 677 p.
 * Wagenführ, R.: Die Industriewirtschaft. Entwicklungstendenzen der deutschen und internationalen Industrieproduktion 1860 bis 1932. Berlin, 1932. 70 S.
 * Barboglio, C.: Le grandi cause del progresso dell' industria Europea ed Americana dal 1815 al 1890. (Economia patit. contemp. in onori di Camillo Supino 2, 233-256.)
 * Bron, H.: Das Erwachen des historischen Denkens im Humanismus des Quattrocento. (Historische Z. 147, 1, 5-20. Nov. 1932.)

Bienstock, G.: Weltgeschichte als Völkerbewegung. (Gesellschaftl. 10, 1, 79-83. Jan. 33.)
 Lotz, W.: Studien über Zwanngsanleihen im mittelalterlichen Italien. (福田博士追憶論文集經濟學研究歐文六五—九八頁)
 Wolfe, A. B.: Population censuses before 1790. (Jl. of the Amer. Statist. Assoc. 180, 357-370. Dec. 1932.)

〔經濟政策〕

* 日本統制經濟論(日本統制經濟全集五) 高橋龜吉著 菊判: 改造社
 * 生産の本質と生産教育の實際 峯地光重著 菊判三二六頁: 厚生 閣
 * 農村の更生を語る 中村菊次郎著 四六判二二二頁: 泰文 館
 * 世界恐慌貿易下の世界貿易政策 平野常治著 四六判一五二頁 森山書店
 經濟計畫化の基本要(經濟時報、五卷二號、昭和八・五、一一—一頁) 村木 福松
 ドイツ・ファシズムの經濟政策 (世界經濟、二卷四號、昭和八・四、九—一二八頁) 阿部 勇
 新自由主義と自由通商と我が日本 (經濟集志、六卷二號、昭和八・四、一—三二頁) 井上 貞藏
 協同組合のプログラム (福田博士追憶論文集經濟學研究、昭和八・四、一九—三七頁) シャール・ジョード
 配給統制と商品取引所政策 (國民經濟雜誌、五四卷五號、昭和八・五、二—三四六頁) 福田敬太郎

本邦窒素工業の經濟的考察(三) (財政經濟時報、二〇卷五號、昭和八・五、六三—七六頁) 萩 五郎
 東京地方に於ける工場趨勢 (社會政策時報、一五二號、昭和八・五、一三〇—一四四頁) 鈴木 脩藏
 沼津商市場の研究 (經濟集志、六卷二號、昭和八・四、九八—一二〇頁) 西田 峯吉
 農村匪救對策批判 (社會政策時報、一五二號、昭和八・五、九七—一二九頁) 鹽田定一氏他三三氏
 米穀統制法の解説 (法律時報、五卷五號、昭和八・五、四〇—四四頁) 村上富士太郎
 小作爭議の趨勢と小作立法問題(二・完) (法學新報、四三卷五號、昭和八・五、三一—五七頁) 八木澤善次
 農村負債整理組合法の要旨 (法律時報、五卷五號、昭和八・五、三五—四〇頁) 小平 權一
 滿民農業移民に就ての考察 (支那、二四卷四號、昭和八・四、三二—三九頁) 澤田 壯吉
 滿洲移民問題 (社會政策時報、一五二號、昭和八・五、附錄一—一五〇頁) 大藏 公望
 ソヴェト經濟に於ける計畫の意義 (ソヴェト聯邦事情、四卷五號、昭和八・五、二〇—一一八頁) 三島 隆
 十五年間のソフホズ建設事業 (ソヴェト聯邦事情、四卷五號、昭和八・五、一一九—一四四頁) 三島 隆
 サヴェト聯邦の集團農業の現状 (世界の勞働、二〇卷五號、昭和八・五、二九—四〇頁) 國際勞働局東京支局
 コルホーズに關する資料 (ソヴェト聯邦事情、四卷五號、昭和八・五、一六七—一七二頁) 國際勞働局東京支局

.....全聯邦農務人民委員ヤ・ヤ・ロマンノ
 共營農場突擊隊員大會の開催に就て(ソヴェート聯邦事情四
 卷五號,昭和八・五,五一—五七頁) 松村 四郎
 日本オホソク・ペーリソング三海の綜合調査(ソヴェート聯邦事
 情,四卷五號,昭和八・五,五八—六四頁) 高橋 克己
 最近ソラノ海運補助政策(經濟時報,五卷二號,昭和五・八,
 二二—三〇頁) 高木 祐治
 交通量と人口及び交通量相互の關係—交通量の概念(上)—
 (都市問題,一六卷五號,昭和八・五,五九—七四頁) 石川 榮麿
 * Agard, E.: Die Chancen der Privat-Wirtschaft. Berlin, 1932.
 88 S.
 * Bergerious, R.: Le socialisme capitaliste. Auteur, 1932. 109 p.
 * Bodin, C.: Economie dirigée, economie scientifique Paris, 1932.
 141 p.
 * Broelle, O.: Coups d'veil et prospectons. Esquisse d'une nou-
 velle orientation de la politique economique. Bruxelles 1932.
 64 p.
 * Eskenasy, A.: Die wirtschaftlichen Grundlagen des Wettbe-
 werbes zwischen Binnenschifahrt und Eisenbahn. Ausz. 1932.
 36 S.
 * Feder, G.: Kampf gegen die Hochnanz. München, 1933. 382
 S.
 * Fried, F.: La fin du capitalisme. Trad. de l'allemand P. J.
 Brunnen. Paris, 1932. 311 p.
 * Frederick, J. G.: Readings in economic planning. The back-
 grounds, the details, the tendencies in all kinds of planning,
 left and right New York, 1932. 359 p.

* Gee, W.: The social economics of agriculture. New York,
 1932. 706 p.
 * Herinberg, P.: Planwirtschaft. Berlin, 1932. 64 S.
 * Höhne, F.: Grundsätzliches zum Wesen und zur Entstehung
 der Wirtschaft. Jena, 1932. 69 S.
 * Knickerbocker, H. R.: Can Europe recover? London, 1932.
 308 p.
 * Kreizer, B.: Staat und Gesellschaft, Wirtschaft und Politik in
 den Schriften W. Rathenau. Ein Beitrag z. Erkenntnis d.
 Ideologie im "Zeitalter d. Niedergangsperiode d. Kapitalis-
 mus". Berlin, 1932. 128 S.
 * Laurat, L.: Economie planée contre économie enchaînée Paris,
 1932. 124 p.
 * Liliental, E.: Selbstständigkeit des Kapitalismus. Berlin,
 1932. 29 S.
 * Mandilescu, M.: Neue Auffassungen über den Gewerbeprek-
 tionismus. Bukarest, 1931. 31 S.
 * Meiler, O.: Gebundene Wirtschaft. Grundsätze u. Grundlinien
 zur Ordnung d. Wirtschaft. Mainz, 1932. 115 S.
 * Moellendorf, W. v.: Konservativer Sozialismus. Hamburg 1932.
 267 S.
 * Newfang, O.: Capitalism and communism. A reconciliation. New
 York, 1932. 296 p.
 * Nolting, E.: Die Wirtschaft von Heute. Berlin, 1932. IV, 120 S.
 * Oppenheimer, F.: Weder so-nach so. Der dritte Weg. 1933.
 107 S.
 * Passow, R.: Freie und gebundene Wirtschaft. Hannover 1932.

24 p.
 * Salm, E.: Wirtschaft und Staat 3 Schriften zur dt. Weltlage.
 Berlin, 1932. 206 S.
 * Schäfer, H.: Zwischen den Fronten. Um eine Neugestaltung
 in Staat u. Wirtschaft. Berlin, 1932. 104 S.
 * Scholz, W.: Wirtschafts-Wirktr. order Wirtschaftsordnung. Eine
 Auseinandersetzung mit d. Wirtschaftsfragen d. Gegenwart.
 Heidelberg, 1933. 48 S.
 * Schulze, K. D.: Staat und Land als organischer Lebensraum.
 Stuttgart, 1932. 64 S.
 * The Solution of the economic problem. A new system of eco-
 nomics. London, 1932. 197 p.
 * Strachey, J.: The coming struggle for power. London, 1932.
 399 p. (Content: The birth of capitalism—Capitalism today.
 —The decay of capitalist culture.—The future of c.—The
 political struggle in Britain.—Communism)
 * Die Lösung des *Wirtschaftsproblems*. Budapest 1933. 75 S.
 * World agriculture. An international survey. London, 1932. VI,
 314 p.
 Bonné, A.: Das Fellachenproblem im Vorderen Orient. Zur
 orientalischen Agrarfrage. (Archiv f. Sozialwiss. u. Sozialpo-
 litik. 69, 1. 1-38. April, 1933.)
 Fricke, R.: Probleme und Problematik des Gläubigerschutzes.
 (Z. f. Betriebswirtschaft. 10, 4. 193-204. April, 1933.)
 Ludwig, W.: Zur Problematik der Bausparkassen. (Z. f. han-
 delswiss. Forschung. 27, 4. 196-211. April, 1933.)
 Ronald, W. R.: Farmers' troubles and a remedy. (Current Affs-

tor). 38, 1. 35-40. April 1933.)
 [金融]

* 金融市場の世界的動搖 エヌ・ロビンソン著 其の他共著 經
 濟批判會譯 四六判三四九頁 叢文閣
 * 聯盟脱退後の財界と株式 勝田貞次著 四六判 景氣研究所
 * 不換紙幣インフレーションの史的發展 宮川貞一郎著 四六
 判二四三頁 高瀬 書房
 * 日本インフレーション 國民經濟 高橋虎雄著 四六判四四三
 頁 高瀬 書房
 * 銀行及金融市場 松崎壽著 菊判 文雅堂
 * インフレーションはさうなる 井關孝雄著 四六判四一二頁 東
 京堂書房
 * 管理通貨論 武田泰次著 菊判 日本評論社
 * 英國銀行の爲替統制(國民經濟雜誌,五四卷五號,昭和八・五,
 一一六—一二〇頁) 田中 金司
 * 銀行主インフレーション 世界經濟問題講座附錄 世界經濟問題 二
 五—三四頁) 金原賢之助
 * 信託財産の取戻權(國民經濟雜誌,五四卷五號,昭和八・五,
 一一二頁) 齋藤常三郎
 * 米國金融恐慌と外債金貨約款の法律的考察(法律時報,五卷五
 號,昭和八・五,四五—四七頁) 栗栖 赴夫
 * 佛蘭西に於ける貨幣價值の變動と金銀債務(國民經濟雜誌,五
 四卷五號,昭和八・五,四七—六九頁) 川上 太郎
 * 價格の變動頻度を平均變動幅—本邦重要商品價格變動の研究
 續—(國民經濟雜誌,五四卷五號,昭和八・五,七一—九四頁) 續

米國の物價と金本位停止 (經濟時報、五卷二號、昭和八・五、四一—五〇頁) 森田 優三

白地手形行爲の意義と手形保證の獨立性 (銀行判例、九卷四號、昭和八・四、四一—四五頁) 飯田 繁

商法第一七六條の法意と其の適用範圍 (銀行判例、九卷四號、昭和八・四、三一—四一頁) 銀行研究社

米國金融恐慌と金本位制 (銀行研究、二四卷四號、昭和八・四、一三—三〇頁) 銀行研究社

擔保附社債信託法改正に就て (銀行研究、二四卷四號、昭和八・四、四一—五六頁) 栗栖 越夫

銀行貸出業務判例研究 (銀行研究、二四卷四號、昭和八・四、附録、一—三二頁) 銀行研究社

米國の銀行恐慌事情 (銀行通信錄、九五卷五六號、昭和八・三、二〇、四二—四三頁) 東京銀行集會所

支拂停止後になしたる債務消滅に關する行爲と其の否認 (銀行判例、九卷四號、昭和八・四、二五—三一頁) 銀行研究社

白紙委任狀附株式譲渡と株式拂込金の責任 (銀行判例、九卷四號、昭和八・四、一八—二五頁) 銀行研究社

米國金融恐慌と聯邦準備金銀行 (銀行研究、二四卷四號、昭和八・四、一一—二二頁) 銀行研究社

米國金本位停止の後に來るもの (銀行研究、二四卷四號、昭和八・四、三一—四四頁) 飯田 繁

インフレーションに關するケインズの理論 (經濟學論集、三卷三、四號、昭和八・四、二九—三〇頁) 今野源八郎

貸出極度査定の概念的基準 (銀行研究、二四卷四號、昭和八・四、六七—八四頁) 藤城 敬二

養成すべき銀塊引上運動 (東洋經濟、一五四九號、昭和八・四、一三一—三七頁) 東洋經濟新報社

日支問題と國際關係 (三田評論、四二七號、昭和八・三、五一—二〇頁) 米田 實

改正擔保附社債信託法と社債の分割發行制度 (東洋經濟、一五四八號、昭和八・五、六、二九—三〇頁) 栗栖 越夫

米國金融恐慌と英國經濟界 (世界經濟、二卷四號、昭和八・四、九〇—九五頁) 高木友三郎

インフレーションと景氣變動 (經濟學論集、三卷三、四號、合冊、昭和八・四、一一—一七頁) 田中 金司

米國普通銀行の小口信用貸付部の實蹟 (銀行論叢、二〇卷四號、昭和八・四、二一—三六頁) 井關 孝雄

金本位制と恐慌 (六) (銀行論叢、二〇卷四號、昭和八・四、三六—六六頁) ラルフ・カーチス

小切手法案の特異點 (三) (銀行判例、九卷四號、昭和八・四、一—一八頁) 銀行研究社

金銀複本位制とは何んなものか (東洋經濟、一五四八年、昭和八・五、六、二二—二九頁) 山崎覺次郎

アメリカ金融恐慌の原因に就て (世界經濟、二卷四號、昭和八・四、六五—八九頁) 友岡 久雄

地金委員報告—リカルド・エビゴネン (經濟學論集、三卷三、四號、昭和八・四、二三五—二四〇頁) 田中 精一

米國の金本位制と「弗」の行方 (銀行論叢、二〇卷四號、昭和八・四、一三—二〇頁) 銀行問題研究會調查部

銀行經營に現はれたる惰性的勢力 (三) (銀行論叢、二〇卷四號、昭和八・四、三七—五二頁) 川瀬 和夫

佛蘭西小切手法に於ける制裁規定 (一) (銀行論叢、二〇卷四

號、昭和八・四、一三七—一四三頁) 得能 次郎

金本位制は何處へ行く (エコノミスト、一一年九號、昭和八・五、一五四—五六頁) 三宅鹿之助

世界恐慌と金本位制 (エコノミスト、一一年九號、昭和八・五、四七—五〇頁) 柴田 敬

アメリカ統制的インフレーションの潰滅 (經濟學論集、三卷三、四號、昭和八・四、一九—二二頁) 田中 精一

米金融恐慌と金本位制 (エコノミスト、一一年九號、昭和八・五、一、五九—六二頁) 楠見 一正

金本位を繞る經濟武裝戰 (エコノミスト、一一年九號、昭和八・五、一、五〇—五三頁) 阿部 勇

インフレーション下の漁業、漁民 (エコノミスト、一一年九號、昭和八・五、一、三七—三九頁) 堀川 虎三

日印通商條約破綻問題檢討 (エコノミスト、二年九號、昭和八・五、六二—六七頁) エコノミスト社

金本位制のゆくへ (エコノミスト、一一年九號、昭和八・五、六一—五九頁) 林 要

ヒルファードインク (經濟學論叢、三卷三、四號合冊、昭和八・四、二八〇—二九一頁) 戸田 武雄

日印五條條約の破棄とその重要性 (ダイヤモンド、二二卷、一三號、一五一—一八頁) ダイヤモンド社

國際本位制の背後にあるもの (エコノミスト、昭和八・五、四四—四七頁) 増井 光藏

インフレのインフレ性 (エコノミスト、一一年九號、昭和八・五、一、三九—四二頁) 春日井 薫

米國金融恐慌と金本位制の將來 (エコノミスト、一一年九號、昭和八・五、五九—六二頁) 楠見 一正

英國の生くる途日本讀書協會々報一五一號、昭和八・五、一五、二七三—二八一頁) コール著大山巍抄譯

信用と平和 (日本讀書協會々報、一五一號、昭和八・五、一五六—一四四頁) ムリナルスキー著大山巍抄譯

インフレと金本位の相剋 (エコノミスト、一一年九號、昭和八・五、四二—四四頁) 金原賢之助

インフレーション基礎理論としての主觀主義貨幣學說—ミゼス貨幣論を中心として (經濟學論集、三卷三、四號合冊、昭和八・四、一八一—四六頁) 橋爪 明男

インフレーションに於ける通貨・物價・爲替と所謂心理的な貨幣理論 (經濟學論集、三卷三、四號合冊、昭和八・四、四七—七五頁) 中村常二郎

インフレーションの我農民への影響 (經濟學論集、三卷三、四號、昭和八・四、一〇五—一三四頁) 本位田祥男

シュンペーター貨幣理論 (經濟學論集、三卷三、四號合冊、昭和八・四、三一—三二五頁) 木村 健康

企業評價とインフレーション—シュマールレンバッハを中心とする一研究— (經濟學論叢、三卷三、四號合冊、昭和八・四、七一—一〇四頁) 中村常次郎

アルベルト・ハインの信用理論 (經濟學論集、三卷三、四號合冊、昭和八・四、三二六—三三六頁) 難波 春夫

インフレ進行下の資本發行市場 (東洋經濟、一五四六號、昭和八・四、一五一—一六頁) 東洋經濟新報社

貨幣に對する社會的信認 (三田學會雜誌、二七卷四號、昭和八・四、一八一—四六頁) 萩原吉太郎

保險業法中改正法律及議事錄 (生保協會々報、二二卷一號、昭和八・四、五九—九九頁) 生保協會

保險請求權の増價に就て(生保會社協會々報、二三卷一號、昭和八・四、四〇—五八頁) 矢田 恒久
 インフレーションを健全なる通貨(ダイヤモンド、二一卷一三號、昭和八・四、三五—三六頁) A. D. ノーメン
 インフレーションを事情變更の原則(法律時報、五卷五號、昭和八・五、三一—一九頁) 岩田 新
 不況時に於ける英米六大銀行の損害比較(銀行通信録、九五卷五六六號、昭和八・三・二〇—三八八—三九二頁)……………東京銀行集會所
 ………………東京銀行集會所
 インフレーション下の法律生活(法律時報、五卷五號、昭和八・五、一九—二九頁) 勝本 正晃
 生保販賣作戦と統計圖表の利用に就て(生命保險會社協會々報、二二卷一號、昭和八・四、一一—三九頁) 水野 昇
 フォンメヤーの通貨安定策(經濟學論集、三卷三・四號、昭和八・四、二五〇—二六四頁) 安井 琢磨
 カッセニのインフレーション理論(經濟學論集、三卷三・四號、昭和八・四、二六五—二七九頁) 高須 虎雄
 * Alston, L.: The function of money, London, 1932. 47 S.
 * Angus, I. L. B.: Investment, London, 1932. 184 p.
 * Bellerby, J. R.: World inflation. An address given before the British Assoc. for the Advancement of Science. Sept. 1932. London, 1932. 15 p.
 * Böhler, E.: Möglichkeiten der Krisenbekämpfung, Zürich, 1932. 48 S.
 * Christen, T.: Das Geldwesen, 1932. 108 S.
 * Les Doctrines monétaire à l'épreuve les faits Paris, 1932. 232 p.

* Eisler, R.: Stable money. The remedy for the world economic crisis. London, 1933. 313 S.
 * Eyrand, H.: La théorie monétaire des crises. Lyon, 1932. 90 S.
 * Felner, F.: L'or et la crise économique mondiale. Bruxelles 1932.
 * Geigner, F.: Die Kaufkraftschöpfung der Banken in dogmenhistorischer Darstellung [von Law bis Hahn] Kuhnbach 1932. 156 S.
 * Glückstadt, H.: Theory of the credit standard. London, 1932. 361 S.
 * Glückstadt, H.: Kreditodens Teori. København. Koppel, 1932. 400 S.
 * Guillaum, G.: Sur les fondements de l'économie rationnelle avec une technique de la prevision. Paris, 1932. 244 S.
 * Gualino, R.: Bewegtes Leben. Zurich, 1932. 194 S.
 * Gumbel, E. J.: La distribuzione dei decessi secondo la legge di Gauss. Roma, 1932. 34 S.
 * Heijperin, M.: Monnaie, crédit et transfert. Paris, 1932. 143 S.
 * Hemingway, W.: Basic Business barometers, their meaning and use. San Francisco, 1932. 209 p.
 * Huntington-Wilson, F. M.: Money and the price level. London, 1932. 232 S.
 * Hviid, V.: Bankers' Credits. København, 1932. 206 S.
 * Kitchin, J.: The world's gold reserves and commodity prices. London, 1933. 4 p.

* Mlynarski, F.: credit and peace. a wayout of the crisis. London, 1933. 92 S.
 * Marti, J.: La edad de oro. Habana, 1932. 344 S.
 * Osborne, R.: Export and import business. London, 1932. 85 S.
 * Perkins, D. W.: Wall Street panics 1813-1930. Waterville, 1931. 214 S.
 * Ricardo, D.: Minor papers on the currency question. Ed. by J. H. Hollander. Baltimore, 1932. 200 S.
 * Rüstow, H.: Akkumulation und Krisen. Heiderberg, 1932. 36 S.
 * Stephenson, J.: Economics of banking, Trade and finance. London, 1932. 382 S.
 * Weston, W. J.: Banking and currency. London, 1932. 295 S.
 * Zolotas, X.: L'étalon or en théorie et en pratique. Paris, 1933. 266 S.
 * Callaway, V. G. C.: The Construction of tables for the rapid Calculation of increasing joint life Actuaries, Contingent probabilities and Contingent Assurance(Jl. of the Inst. of Actuar VL 14. Part 1. No. 308. p. 98-106)
 Brown, P. G.: Review of the Recent Trend of Mortality in England and Wales. (Jl. of the inst. of Actuar. VL 14 Part 1. No. 308. p. 46-48)
 Ellsworth, D. W.: The great inflation fallacy. (Current History 38, 1. 18-21. April, 1933.)
 Die Entwicklung des internationalen geld- und Kapitalmarktes und der Märkte einzelner Länder während des Jahres 1932

(Jahrbücher f. Nationalökonomie u. Statistik 138. 4. 518-540. April, 1933.)
 Gross, H.: Ausgangspunkte, Formen und Wirkungen der Devisenzwangswirtschaft. (Archiv f. Sozialwiss. u. Sozialpolitik, 69, 1. 49-79. April, 1933.)
 Hagstorn, K.-G.: Les Préjudes antiques de la Théorie des Probabilities. (Jl. of the inst. of actuar. V. L14 Part 1. No. 308. p. 56-57.)
 Henry, A.: Le Calcul des differences finies et ses applications. (Review)(Jl. of the inst. of Actuar. V. L14. Part 1. No. 308 p. 53-53)
 Krebs, W.: Zur Entstehung der Deutschen Zentralgenossenschaftskasse. Ein Rückblick. (Jahrbücher f. Nationalökonomie u. Statistik. 138. 4. 560-578. April 1933.)
 Loewy, A.: Ausbau der allgemeinen Bezeichnungswesen für die Versicherungsrechnung. (Review)(Jl. of Inst. of Actuar. V. L14. Part 1. No. 308 p. 58-59)
 Mackenzie and N. E. Sheppard: An introduction to the theory of life contingencies. (Review)(Jl. of the inst. of Actuar. V. L14. Part 1. No. 308. p. 55-56)
 Mirra, D. P.: Uniqueness versus Multiplicity of the rate of interest in a purely financial transaction. (Jl. of Inst. of Actuar. V. L14. Part 1. No. 308. p. 71-98)
 Nielsen, A.: Das währungspolitische Ziel der Papierwährungsländer. (Archiv f. Sozialwiss. u. Sozialpolitik. 69, 1. 39-48. April, 1933.)
 Plant, A.: The new outlook in South Africa. (Fortnightly Review)

view. 796. 432-440. April 1933.)
 Swing, R. G.: The inevitable American crash. (Fortnightly Review. 796. 409-421. April 1933.)
 Treubner, W.: Kampf um den Goldstandard (Preussische Jahrbücher 232-1, S. 54-62. April, 1933.)
 Underwood, R.-E.: A "Money-Purchase" Pension Scheme. (Journal of the Institute of Actuaries. V. L14. Part 1. No. 308. p. 13-32.)
 Wise, E. F.: The socialization of banking. (Political Quarterly. 4. 2. 169-181. April-June, 1933.)
 Wood, F. I.: Actuarial Note on accumulation factors. (Jl. of Inst. of actuar. V. L14. Part 1. No. 308. p. 69-70.)

〔世界經濟〕

*世界經濟問題講座 第七回 菊判 (内容、ソヴェート同盟經濟勢力圏、加田哲二、橋本勝彦著、一一六頁、恐慌と失業、園乾治著、五二頁、英帝國の經濟勢力圏、野村兼太郎著、四四頁、現時の世界恐慌概観、町田義一郎著、一〇三頁、國際貸借の現状、金原賢之助、八〇頁) 春秋社
 *世界恐慌下の世界貿易政策 平野常治著 四六判 森山書院
 *世界現勢地圖帖 小川琢治著 菊判一八四頁 三光社
 *ブラウン經濟地理講話 高橋四郎抄譯 四六判二七六頁：……今古書院
 *世界經濟年報 第二〇輯 ヲアルカ著 經濟批判會譯 四六判一五五頁 叢文閣
 *世界經濟學 經濟學全集十六卷 作田莊一著 四六判三五六

頁
 *日印條約破棄と其の影響 時事パンフレット第三輯 四六判 四一頁 時事新報社
 *ソヴェート現勢資料(一九三三年) 菊判一〇〇一頁……露西亞通信社
 世界關稅及ダンピング問題文獻(世界經濟問題講座附録、世界經濟問題、三四一四四頁) 濱田 恒一
 露領漁區入札結果とソ聯の進出(ソヴェート聯邦事情、四卷五號、昭和八・五・三二—三三八頁) 高橋 克巳
 一九三二年の北滿市場(ソヴェート聯邦事情、四卷五號、昭和八・五・一四—一六六頁) 原 龍三譯
 協同經濟に乗出した世界經濟會議(財政經濟時報、二〇卷五號、昭和八・五・五七—六二頁) 松田 雪堂
 日印貿易の危機(財政經濟時報、二〇卷五號、昭和八・五・九三—九七頁) 今村 武雄
 國際經濟會議々題—専門家準備委員會報告書全文—(東洋經濟、二五四七號、昭和八・四・五一—六六頁) 東洋經濟新報社
 世界經濟會議と金問題(ダイヤモンド、二卷一三號、三〇—三四頁) ダイヤモンド社
 世界に於ける國際債務關係(ダイヤモンド、二卷四號、昭和八・四・三八—三九頁) ダイヤモンド社
 日印互惠條約の廢棄とその重要性(ダイヤモンド、二卷一三號、一五一—一八頁) ダイヤモンド社
 大統領令を中心とする獨占經濟の動向(銀行通信錄、九五卷五六六號、昭和八・三・二〇、三七〇—三八四頁) 東京銀行集會所
 世界經濟會議への我が重要主張(東洋經濟、一五四九號、昭和八・四・一九—二二頁) 高島佐一郎

支那に於ける英米の對立(支那、二四卷四號、昭和八・四・四〇—四八頁) 本多 弘一
 日滿經濟提携の意義(支那、二四卷四號、昭和八・四・一五—二一頁) 河田 烈
 聯盟問題と支那の情勢(世界經濟、二卷四號、昭和八・四・五七—六五頁) 木村哲太郎
 國際兵器取引と兵器トランスの成立(世界經濟、二卷四號、昭和八・四・一六—二一頁) 世界經濟研究所
 滿洲國法權廢止問題と就つ(支那、二四卷四號、昭和八・四・二二—三一頁) 岸田 英治
 國際政局の現状(世界經濟、二卷四號、昭和八・四・一五—一七頁) 平 貞藏
 *Benning, B.: Umsätze, Lagerhaltung und Kosten im deutschen Einzelhandel 1924 bis 1932. Berlin, 1933. 81 S.
 *Eckert, C.: Alter und neuer Imperialismus. Jena, 1932. 46 S.
 *Entwurf eines Gesetzes über das Internationale Abkommen über Wirtschaftsstistik. Berlin, 1932. 116 S.
 *Künzel, W.: Die Methode der räumlichen Gruppenbildung am Beispiel einer neuen Volksdichtekarte vom Freistaat Sachsen. Leipzig, 1932. 6 S.
 *Lampus, F.: Import und Konjunktur. Frankfurt 1931. 45 S.
 *Lantini, F.: Die Hipernesse im internationalen Handel, Frankfurt, 1932. 28 S.
 *Whale, B.: International Trade. London, 1932. 256 S.
 Burns, E. M.: Die nichtlandwirtschaftliche Arbeitslosigkeit in den Vereinigten Staaten 1930-1932. (Weltwirt. Arch. B. 37. H. 2. Apr. 1933. S. 529-559)

Condliffe, J. B.: Die Industrialisierung der wirtschaftlich rückständigen Länder. (Weltwirt. arch. B. 37. H. 2. p. 335-360)
 Elliott, W. V.: War debts and peace credits. (Political Quarterly. 4. 2. 201-216. April-June, 1933.)
 Hirsch, J.: Der wirtschaftliche Weltwille. (Weltwirt. arch. B. 37. H. 2. p. 309-335)
 Lindahl, E.: Zur Frage eines internationalen Systems der Goldwährungen. (Weltwirt. Arch. B. 37. H. 2. Apr. 1933. S. 460-473)
 Mazzei, J.: Kritische Betrachtungen zur neuerlichen Zollpolitik. (Weltwirt. arch. B. 37. H. 2. Apr. 1933. 381-412)
 Michels, R.: Die wirtschaftliche Bedeutung der römischen Europa-Tagung. (Weltwirt. Arch. B. 37. H. 2. Apr. 1933. S. 559-564)
 Neuling, W.: Entwicklungstendenzen im Welthandel der letzten 50 Jahre. (Weltwirt. B. 37. H. 2. Apr. 1933. S. 360-281.)
 Pommeey, L.: Die französische Volkswirtschaft in der Weltkrisis. (Weltwirt. Arch. B. 37. H. 2. Apr. 1933. S. 425-444)
 Reisch, R.: Begriff und Bedeutung des Kredites. (Weltwirt. Arch. B. 37. H. 2. April, 1933. S. 494-529)
 Siegfried, A.: Letters from South America-III. (Fortnightly Review. 769. 463-483. April 1933.)
 Hohnfeld, H. H.: Die Struktur der Zwischenländischen Kapitalbewegungen. (Weltwirt. arch. B. 37. H. 2. Apr. 1933. S. 473-

494)
 Yumoto, T.: Die Entwicklung des japanischen Aussenhandels. (Weltwirt Arch. B. 37. H 2 Apr. 1933. S. 444-460)
 Schmidt, A.: Europa am Scheidewege (Preussische Jahrbücher 232-1, S. 39-53. April, 1933)
 Schmidt, R.: Der Import China-Deutschland, insbesondere seine Finanzierung. (Z. f. handelswiss. Forschung. 27, 4. 183-196. Apr. I, 1933.)
 *Josephy, B.: Währungsrecht, Währungsbeherrschung. Jena, 1933. 160 S.

【財政學】

* 税制の理論と實際 濱田哲九郎著 菊判三四一頁 大同書院
 * 納税奨励の理論と實際 久保太助著 百道刊行社
 * 尨大豫算と其の影響 時事新報社編 四六判四七頁……
 * 地方財政調整論 永安百治著 菊判一六七頁 時事新報社
 * 非常時財政と財界 西野喜與著作 四六判二一五頁……
 * 我が財政經濟の前途 (財政經濟時報'二〇卷五號 昭和八・五・三七-四六頁) 服部文四郎
 * 租税原則論の諸問題(福田徳三博士追憶論文集經濟學研究'昭和八・四・一一-二四頁) 井藤 半彌
 * イマンノの必然と租稅政策の動向 (東洋經濟'五四五號 昭和八・四・二一-二六頁) 高島佐一郎
 * 我國財政改革の基本問題(財政經濟時報'二〇卷五號 昭和八・

五'四七一-五六頁) 高木 壽一
 * 軍費の膨脹とイマンノシメノ効果(東洋經濟'一五四五號 昭和八・四・一一-一四頁) 東洋經濟新報社
 * 第六十四議會の租稅問題(會計'三二卷五號 昭和八・五・七一-八六頁) 船田 勇
 * 戦後イマンノシメノ公債政策とイマンノシメノ(經濟學論集'三卷三・四號合冊'一三五-一五九頁) 岩野嘉次郎
 * Anderson, B. M.: The interrelated debts, politics and economics. New York, 1932. 13 p.
 * Bictache, S.: Le problème de l'importation du commerce et de l'industrie en Égypte. Paris, 1930. 346 p.
 * Blakey, R. G.: The state income tax Minneapolis 1932. 88 p.
 * Blanchet, L.: Le système belge de l'impôt sur les revenus, comparé du système français. Lille, 1930. 208 p.
 * Böhm, L.: Das Zweckproblem in der Besteuerung. Biesrau 1932. XIII, 37 S.
 * Final Act of the Lausanne Conference. Lausanne, July 9, 1932. Presented by the Secretary of State for Foreign Affairs to Parliament. London, 1932. 16 p.
 * Frank, E.: Der Begriff der privatwirtschaftlichen Unternehmens. im deutschen Reichssteuerrecht. Berlin, 1932. XVI, 165 S.
 * Herndon, J. G.: Your new income tax. The present federal income tax law illustrated and explained Philadelphia, 1932. 238 p.
 * Hodgson, J. G.: Cancellation of international wardebts. New

York, 1932. 226 p.

* Internationaler Steuerbelastungsvergleich. Die Steuer- und Sociallasten der gewerblichen und Kaufmannische Betriebe in Deutschland, Frankreich, Grossbritannien, Italien, Österreich und den Vereinigten Staat von America. Berlin, 1933. XXXI, 779 S.
 * Kersting, W.: Rechtsnatur des Lotteriegeschäfts und Lotterieloses. Glossenheft, 1932. 76 S.
 * Koszul, J. P.: Les effets de restauration financiere de la Bulgarie (1932-1931) Paris, 1932. XII, 468 p.
 * Schaffer, C. u. H. Motulsky: Der Steuergutschein. Eine kurze Darstellung. Leipzig, 1932. 28 S.
 * Schenpp, O.: Frankreich und die deutschen Sachlieferungen. Beitr. z. Empfangsproblem d. Reparationen. Karlsruhe, 1932. 83 S.
 * Situation financière de l'Austrie pendant le troisième trimestre de 1932. Quatrième Rapport trimestriel de M. Rost von Tonningen. Genève, 1932. 33 p.
 * Statist. Reichsamt: Das deutsche Volkseinkommen vor und nach dem Kriege. Berlin, 1932. 198 S.
 * Statist. Reichsamt: Umsatz und Umsatzsteuer in Deutschland nach den Umsatzsteueranlagungen, 1929- und 1930. Berlin, 1932. 160 S.
 * Stürmlinger, J.: Die Besteuerung der Personengesellschaften. Wehrheim, 1932. 66 S.
 * Taenzler, M.: Die Besteuerung der öffentlichen Betriebe und ihr Einfluss auf den Wettbewerb mit privaten Unternehmungen.

gen, Berlin, 1932. VII, 29 S.
 * University of Chicago Round table: Balancing the budget. Federal fiscal policy during depression. Chicago, 1933. 30 p.
 * Von, M.: Delles politiques et d'elles commerciales. Paris, 1932. 256 p.
 * The War Debts. History and full analysis of the problem. London, 1932.
 * Weber, M. Eine eidgenössische Krisensteuer. Zürich, 1932. IV, 24 S.

【經濟經濟學】

* 商工經營綱要 鈴木保良著 菊判二九〇頁 丁酉社
 * 改修商業學概論 内池廉吉著 菊判四四〇頁 同文館
 * 企業財政論 高瀬莊太郎著 (現代經濟學全集'第三〇卷) 菊判三〇七頁 日本評論社
 * 米國百貨店の概観 伊藤重治郎著 菊判………
 * ……立教大學商學研究室
 * 最新商學概論 上坂西三著 菊判四六一頁 泰文社
 * ……(法學論叢'二九卷五號)
 * ……大隅健一郎
 * ……和八・五・三〇-三五頁)
 * ……(法律時報'五卷五號)和
 * ……(勞働科學に就して(三田學會雜誌'二七卷五號 昭和八・五・一

温泉旅館業の會計(會計、三二卷五號、昭和八・五、一一八—一二七頁) 藤卷 治吉
 莫大小業々々の帳簿組織(會計、三二卷五號、昭和八・五、一一四—一二七頁) 丸木猶次郎
 企業の信用經濟的觀察方法(會計、三二卷五號、昭和八・五、一一五—一二八頁) 沼田 嘉穂
 會社經營比率の研究(會計、三二卷五號、昭和八・五、一二八—一四〇頁) 井上 達雄
 支那會計師の關する最近の法規(會計、三二卷五號、昭和八・五、一〇三—一〇七頁) 有本 邦造
 * Miller, M.: Die Berücksichtigung von Geldwertchwankungen in Buchhaltung und Bilanz. Nürnberg, 1932. 110 S.
 * Twichaus, H.: Die Bewertung und Abschreibung von Gegenständen des beweglichen Anlagevermögens unter besonderer Berücksichtigung des Tiefbaugeswerbes in betriebswirtschaftlicher und steuerlicher Hinsicht. Königsberg, Selbstverlag. 145 S.
 * Wolf, R.: Wirtschaftliche Buchhaltungsverfahren unter Berücksichtigung der Handdruckschreiber- und Maschinenbuchhaltung. Hamburg, 1932. 84 S.
 * Lenz: Die Rechen- und Buchungsmaschinen. 3 Aufl. Leipzig u. Berlin, 1932. 122 S.
 * Weigmann: Grundlagen des Betriebsvergleichs. Stuttgart, 1932. 154 S.
 * Forjančić, T.: Die rechnerischen Grundlagen im Aufbau der Vermögensverrechnung. (Z. f. Betriebswirtschaft. 10, 4. 204-214. April 1933.)

Fischer, H.: Die steuerliche Buch- und Betriebsprüfung von Mittelbetrieben. (Z. f. Betriebswirtschaft. 10, 4. 220-235. April 1933.)
 Rauchaufsch-Breil, A.: In welchem Umfang muss der Wirtschaftsprüfer bei Übernahme der Pflichtrevision ausbedingen, dass ihm auch die Prüfung der Konzerngesellschaften ermöglicht wird? (Z. f. handelswiss. Forschung. 27, 4. 169-183. April 1933.)

【社會學】

* マックスの出産様式に就て 早川二郎譯 菊判 白揚社
 * 變遷社會の理論的考察 赤神良讓著 菊判 明大學會
 * 泰の社會學 井上吉次郎著 四六判 時潮社
 因果性々法則性唯物論研究、七號、昭和八・五、一二一—一二三頁) 吉田 敏
 目的論的、表現的、辯證法的(承前)(哲學研究、一八卷四冊、昭和八・四、四六一—八〇頁) 高山 岩男
 平野氏編「マルクス・エンゲルスにおける史的唯物論と法律」(改訂版)に就して(法學論叢、二九卷五號、昭和八・五、一四二—一四六頁) 中村 文夫
 國際社會の再構成への努力(二)(法學論叢、二九卷五號、昭和八・五、六六一—八九頁) 田村 徳治
 フランシスモの精神分析と其の批判(一)(國家學會雜誌、四七卷四號、昭和八・四、六〇一—八四頁) 戸澤 鐵彦
 フランシスモの精神分析と其の批判(二・完)(國家學會雜誌、四七卷五號、昭和八・五、五七一—八一頁) 戸澤 鐵彦

文化における宗教の地位(唯物論研究、七號、昭和八・五、八八—一〇五頁) 井野 有一

* Du Passage, II.: Nations de sociologie. Paris, 1932. 243 p.
 * Ellwood, C. A.: Social problem. A sociology. New York, 1932. 432 p.
 * Gumpowicz, L.: The letters of Ludwig Gumpowicz, to Lester F. Ward. Ed. by Bernard J. Stern. Leipzig, 1933. 31 p.
 * Karpf, F. R.: American social psychology; its origins, development and European Background. New York, 1932. 461 p.
 * Leuchtgens, H.: Theorie der Gesellschaft. Friedberg, 1932. 432 S.
 * Mukerji, D. P.: Basic concepts in sociology. London, 1932. 211 p.
 * Schoenlank, L.: Das Versicherungsprinzip und das Fürsorgeprinzip in der deutschen sozialversicherung. Berlin, 1933. 127 S.
 * Ross, J.: A survey of sociology. Milwaukee, 1932. 592 p.
 * Baumann, K.: Autarkie und Planwirtschaft. (Zeitschrift für Sozialforschung. 2. 1. 79-103. 1933.)
 * Cavan, R. P.: The Questionnaire in a Sociological Research Project. (The American Journal of Sociology. 38. 5. 720-727. March 1933.)
 * Emmy, W.: Die Motive der Fürsorge (Jahrbücher f. national-ökonomie und Statistik. 138. 3. 321-364. März 1933.)
 * Gerhardt, J.: Grundfragen der Soziologie in der neueren Literatur. (Haus Freyer, Neunah, Karl Dunkmann, Lehrbuch der Soziologie und Sozialphilosophie, Handwörterbuch der

Sociologie) (Jahrbücher für Nationalökonomie und Statistik. 138. 3. 440-458. März 1933.)

Hart, II.: Changing Opinions about Business Prosperity: A Consensus of Magazine Opinion in the U. S., 1929-32. (The American Journal of Sociology. 38. 5. 665-687. March 1933.)
 Horkheimer, M.: Materialismus und Metaphysik. (Zeitschrift für Sozialforschung. 2. 1. 1-33. 1933.)
 Löwenthal, L.: Conrad Ferdinand Meyers Lerroische Geschichtsauffassung. (Zeitschrift für Sozialforschung. 2. 1. 34-62. 1933.)
 Mann, F. K.: Zur Soziologie des Berufs. (Jahrbücher f. Nationalökonomie u. Statistik. 138. 4. 481-500. April 1933.)
 Mukerjee, R.: The Criterion of Optimum Population. (The American Journal of Sociology. 38. 5. 688-698. March 1933.)
 Rusche, J.: Arbeitsmarkt und Stratvollzug. (Zeitschrift für Sozialforschung. 2. 1. 63-78. 1933.)
 Smith, M.: A Note on Stability in Questionnaire Response. (The American Journal of Sociology. 38. 5. 713-720. March 1933.)
 Taft, W. R.: Testing the Selective Influence of Areas of Delinquency. (The American Journal of Sociology. 38. 5. 699-712. March 1933.)

【社會問題】

* 思想資本 土田杏村著 菊判 日本評論社
 * 何れが資本主義か ノーニム著 山内房吉譯 (改造文庫) 菊

中截

＊ナチス(ヒットラー運動思想政策) 長守善一著 四六判: 改造社

＊サヴェート法思想の發展過程 スタリグヴィツ著 山内一郎譯 菊判 大畑書店

＊五・一五事件と愛郷塾の全貌 昆貞著 四六判 高瀬書房

＊電燈争議の新戦術 布施辰治著 希望閣

＊共産黨はなぜ悪いか 東洋學人著 四六判 松華堂

＊反マルクス主義抗争の五十年(唯物論研究、七號、昭和八・五、九八—一〇五頁) B・ウィントフスキー

＊亞細亞に於ける國際労働運動に就て—亞細亞労働會議其他—(社會政策時報、一五二號、昭和八・五、七九—九六頁) 米窪 滿亮

＊米國最近の社會趨勢(國民經濟雜誌、五四卷五號、昭和八・五、一三〇—一二六頁) 岡本 眞一

＊印度に於ける雇傭主團體の發展(世界の勞働、一〇卷五號、昭和八・五、一一—一三頁) 國際労働局東京支局

＊ヒットラー獨裁政治の實現と獨佛三國關係の變遷(ソヴェト聯邦事情、四卷五號、昭和八・五、二〇—三二頁) 小山

＊フアンゴロイタリアの政治的構成(下)(經濟國家の創設)都市問題、二六卷五號、昭和八・五、二五—四四頁) 今中 次磨

＊フアンゴロイタリアの國家理論—伊太利 Mythos の誕生—(二) 法律論叢、一二卷五號、昭和八・五、二八—五〇頁) 森吉 義旭

＊未開土人の人口衰退傾向に就て(一)(國家學會雜誌、四七卷五號、昭和八・五、一一—五六頁) 矢内原忠雄

＊ナチズムと人問題(財政經濟時報、二〇卷五號、昭和八・

五、九八—一〇二頁)

＊トムソン博士の見た日本人口問題の爆發性(財政經濟時報、二〇卷五號、昭和八・五、八四—八八頁) 竹本 孫一

＊近き將來に於ける日本人口の豫測(社會政策時報、一五二號、昭和八・五、一一—二九頁) 上田貞次郎

＊人口増加の推定(下)(社會政策時報、一五二號、昭和八・五、三〇—四三頁) 左右田武夫

＊Amico, C.: L'assistenza sociale nel regime fascista. Messina, 1932. 68 p.

＊Engels, F.: Die Lage der arbeitenden Klasse in England und andere Schriften von August 1844 bis Juni 1846. (Karl Marx-Friedrich Engels, Historisch-kritische Gesamtausgabe, Werke, Schriften, Briefe. Im Auftr. des Marx-Engels-Lenin Institutes, Moskau. hrsg. von V. Adoratsky. I. Abt., Bd. 4) Berlin, 1932. XX. 558 S.

＊Gronaire, G.: Le socialisme doit-il disparatre. Paris, 1933. 189 p.

＊Hessenderfer, M.: Die soziale Frage im englischen Schrifttum. Bielefeld u. Leipzig. 1932. IV-107 S.

＊Herzig, J.: Die Stellung der deutschen Arbeitergewerkschaften zum Problem der Wirtschaftsdemokratie. Jena. 1933. 74 S.

＊Hochdorf, M.: August Bebel. Geschichte einer politischen Ver-nunft. Berlin, 1932. 358 S.

＊Kohn, H.: Der Nationalismus in der Sowjetunion. Frankfurt a. M. 1932. 150 S.

＊Lombard, P.: Au bureau du socialisme francais. Paris, 1932. 253 p.

＊Lubin, J. and others: What to do about unemployment. Chicago, 1932. 14 p.

＊Marx der Denker und Kämpfer. Gedenkschrift zum 50. Todestag. Mißarb.: Walter Biethahn u. a. Berlin, 1933. 80 S.

＊Marx, K. u. F. Engels.: Werke und Schriften von Mai 1846 bis März 1848. (Karl Marx-Friedrich Engels, Historisch-kritische Gesamtausgabe. Werke, Schriften, Briefe. Im. Autr. des Marx-Engels-Lenin Institutes, Moskau. Hrsg. von V. Adoratsky. I. Abt. Bd. 6) Berlin. 1932. XXI. 746 S.

＊Webb, S.: Soviet Russia as a federal state (Political Quarterly, 4. 2. 182-200. April-June 1932.)

＊Zeissl, H.: Zur Soziographie der Arbeitslosigkeit. (Archiv f. Sozialwiss. u. Sozialpolitik, 69, 1. 96-105. April 1933.)

〔社會政策〕

＊Miller, B.: Wohnungsbauförderung. Vorschläge für Behörden und Baubetriebe. Frankfurt a. M. 1933. 64 S.

＊Newfang, O.: Capitalism and communism: a reconciliation. New York, 1932. 296 p.

＊Schiller, F. C. S.: Social decay and eugenical reform. New York, 1932. 164 p.

＊Seel, E.: Kapitalismus ohne Arbeitslose. Wien u. Leipzig, 1933. 26 S.

＊Brown, H.: Germany in revolution. (Fortnightly Review. 796. 441-452. April 1933.)

＊Goheln, G.: Hunger. (Preussische Jahrbücher 232-1, S. 69-74. April, 1933.)

＊Lees-Smith, H. P.: British labor's program. (Current History, 38, 1. 22-28. April, 1933.)

＊Mussoline, B.: Die Lehre des Faschismus. (Preussische Jahrbücher 232-1, S. 1-16. April, 1933.)

＊Webb, S.: The Family in Soviet Russia. (Current History, 38, 1. 52-60. April, 1933.)

＊農村社會教育 關屋龍吉著 (農村更生叢書、第八回) 三五

＊兒童虐待防止法附義 日本檢察學會編 四六判 立興社

＊職業教育指導要説谷口政秀著 四六判 厚生閣

＊問題の親 ミイル著 霜田靜志譯 四六判 刀江書院

＊第六十四議會を通過したる社會問題關係重要法律(社會政策時報、一五二號、昭和八・五、附錄二—一五頁) 協調會調査課

＊最近公布の本邦社會及労働關係法令(世界の労働、一〇卷五號、昭和八・五、六〇—六九頁) 國際労働局東京支局

＊經營に於ける勞務者集團の法律上の性質(法學新報、四三卷五號、昭和八・五、五八—七〇頁) 中村 武

＊中華民國修正工廠法と孫博士「我國」労働契約法々典「私案」(法學新報、四三卷五號、昭和八・五、一〇三—一二二頁) 東井 金平

＊労働協約の效力—最近の一判決を機軸として—(法學論叢、二九卷五號、昭和八・五、九〇—一二二頁) 後藤清・吉川大二郎

＊労働協約の本質に関する二個の見解の對立(三・完)(法律論叢、一二卷五號、昭和八・五、一一—二七頁) 後藤 清

＊工場監督覺帖(十)(産業福利、八卷五號、昭和八・五、八四—九三頁) 矢野 兼三

救護法に關する若干問題—全國方面委員大會の論議を中心として—(都市問題、二六卷五號、昭和八・五、九七—一〇四頁)……幸島 禮吉
 知識階級失業對案(社會政策時報、一五二號、昭和八・五、四四—五六頁)……堀田 健男
 失業對策としての物々交換(國民經濟雜誌、五四卷五號、昭和八・五、一三—一五頁)……丸谷 喜市
 重視すべき全國的勞銀基金制問題(ソヴェト聯邦事情、四卷五號、昭和八・五、三八—五一頁)……古 澤
 世界各國の失業保險及扶助制度(世界の勞働、一〇卷五號、昭和八・五、五六—六〇頁)……國際勞働局東京支局
 經濟不況と公共保健(世界の勞働、一〇卷五號、昭和八・五、一一—二八頁)……國際勞働局東京支局
 昭和六年度に於ける工場公害紛議(產業福利、八卷五號、昭和八・五、八—四六頁)……井口 幸一
 海外に於ける乳兒保健事業(社會事業、一七卷一號、昭和八・四、二二—二七頁)……定方 龜代
 本邦乳幼兒保護施設概観(社會事業、一七卷一號、昭和八・五、一八—三〇頁)……早崎 八洲
 乳幼兒の精神衛生(社會事業、一七卷一號、昭和八・四、四三—四九頁)……三宅 鏡一
 幼兒生活の環境心理學的考察(社會事業、一七卷一號、昭和八・四、五〇—五六頁)……城戸幡太郎
 訪問看護婦の眼に映じたるメラムの乳幼兒(社會事業、一七卷一號、昭和八・五、七六—七九頁)……山本 俊子
 兒童保護の施設と入々(社會事業、一七卷一號、昭和八・四、八〇—一一一頁)……渡田修藏他八氏

不良住宅地區改良事業(完)(社會事業、一七卷一號、昭和八・四、一一—一二六頁)……清水 虎雄
 第六十四議會に於ける都市問題(都市問題、一六卷五號、昭和八・五、一〇五—一一一頁)……小倉 庫次
 第六十四議會に於ける東京都制案に關する論議(都市問題、一六卷五號、昭和八・五、一一三—一二七頁)……東京市政調査會
 ニューヨーク市憲章の沿革と其の改正案(上)(都市問題、一六卷五號、昭和八・五、一二九—一四五頁)……弓家 七郎
 市政學とドイツの大學(都市問題、一六卷五號、昭和八・五、一五九—一六三頁)……小田 忠夫
 ソヴェト聯邦都市計畫の理論と實際(都市問題、一六卷五號、昭和八・五、一四七—一五八頁)……吉川末次郎
 都市に於ける道路の設計(下)—歐米都市の研究一節—(都市問題、一六卷五號、昭和八・五、四五—五八頁)……中村與養平
 報償契約に就て(都市問題、一六卷五號、昭和八・五、一一—二一頁)……池田 宏
 東京市電力自給計畫案批判(都市問題、一六卷五號、昭和八・五、七五—九六頁)……櫻木 徹
 * Arbeitschaftung in Krisenzeiten. (Rahmenentwurf.) Hrg. von d. österr. Völkerbundliga, Wien, 1933. 22 S.
 * Bäumer, G.: Der Freiwillige Arbeitsdienst der Frauen. Grundlagen, Sinn, Praxis u. künft. Bedeutung. Arh.: Der Freiwillige Arbeitsdienst f. Mädchen. Eine Denkschrift, bearb. von Dr. Archiv. f. Jugendwohlfahrt u. d. Dr. Akatmie f. soziale u. pädag. Frauenarbeit Leipzig, 1933. 35 S.
 * Boening, H.: ABC des Freiwilligen Arbeitsdienstes. Mit allen grundlegenden Verordnungen, Aus- u. Durchführungsvorsch.

riten, sowie d. anhl. Vordrucke. Lose Blatt-Ausg. Berlin, 1933. 174 S.
 * Copenolle, E. van: De Belgische politiek van de volkswoning. Brussel, 1932. 256 p.
 * Delor, K.: Die gewerbliche Arbeitsordnung nach geltendem Recht. Diren-Rhld., 1932. 65 S.
 * Dunkelmann, K.: Soziologie der Arbeit. Arbeit und Gesellschaft. Arbeit und Wirtschaft. Arbeit und Eigentum. Halle a. S., 1933. 163 S. (Handbuch d. Arbeitswissenschaft. 8-9. r.)
 * Entwurf eines Übereinkommens über die Begrenzung der Arbeitszeit im Kohlenbergbau. Berlin, 1932. 5 S. (Reichstags-7. Wahlperiode. 1932. Drucks. 176.)
 * Fischer, J.: Österreichische und reichsdeutsche Sozialpolitik. (Österreichisch-Deutsche Arbeitsgemeinschaft.) Wien, 1932. 37 S.
 * Haradt, R.: Erkenne das Geld! Die Lösung d. Arbeitskrisen-problems durch feste Kaufkraft d. Geldes. Wien, 1932. 36 S.
 * Hartner, W.: Die Einführung von Kurzarbeit. Gelnhausen, 1932. 67 S.
 * Härtwig, H.: Kündigungsschutz der Schwerbeschädigten. Meuselwitz i. Thür., 1932. 85 S.
 * Hille, J.: Mahraun. Der Pionier d. Arbeitsdienstes. Leipzig, 1933. 50 S.
 * Home ownership, income and types of dwellings. Washington, President's Conference on Home Building and Home Ownership, 1932. 248 p. (Final reports of the committees. 4)

* Housing objectives and programs. Washington, President's Conference on Home Building and Home Ownership, 1932. 370 p. (Final reports of the committees. 11.)
 * Int. Arbeitsamt: Arbeitszeit und Arbeitslosigkeit. Bericht an d. vorbereitende Konferenz Januar 1933. Genf, 1933. VIII, 214 S. [Auch franz u. engl. erschienen.]
 * Jaerisch, G.: Der Freiwillige Arbeitsdienst im Deutschen Reich. Die nebst Anh. betr. d. Siedlungswesen. Ein Kommentar f. d. Praxis. 2., vollst. umgearb. Neuauf. Breslau, 1933. 175 S.
 * Jennings, W. I.: The law relating to towns and country planning. London, 1932.
 * Jülich, H.: Der Freiwillige Arbeitsdienst in der Grossstadt. Grundrissliches zur Fragen: Arbeiten oder Dienen? Stuttgart, 1932. 32 S. (Arbeit u. Gemeinschaft. 3.)
 * Ledermann, E. B.: Hat Herr v. Borsig recht gehabt? Die Behebung d. Arbeitslosigkeit durch Arbeitszeiterkürzung. Der Standpunkt d. "Vereinigung d. dt. Arbeitgeberverbände e. V." u. Kritik desselben. 2. Aufl. Berlin, 1932. 12 S.
 * Liesegang, H.-F.: Das Anordnungsrecht des Arbeitgebers und Betriebsvereinbarungen. Berlin, 1932. 41 S.
 * MacRae, A.: Talents and temperaments. The psychology of vocational guidance. London, 1932. 222 p.
 * Mathies, W.: Die Voraussetzungen zulässiger Mehrarbeit nach der Arbeitszeiterordnung und ihre Nachprüfung durch die Gerichte. Borna-Leipzig, 1932. XII, 130 S.
 * Meyer, A.: Die Lösung des Rätsels der Arbeitslosigkeit. Hei-

delberg, 1933. 32 S.
 * Pressprich, W. G.: Das recht der Kurzarbeit. Stuttgart, 1932. 76 S.
 * Rögind, S.: Die Monopolbetriebe auf dem Gebiet der Spiritusindustrie. Eine Studie über d. Organisation u. d. Ergebnisse d. Staatsmonopole u. d. Monopolisierten Betriebe. Berlin u. Leipzig, 1932. 88 S.
 * Rehlund, R.: Die rechtlichen Grundlagen der Berufsberatung. Grosseheirn, 1932. 122 S.
 * Schumacher, F.: Wesen und Organisation der Landesplanung im Hamburgisch-Preussischen Planungsgebiet. Hamburg, 1932. 46 S., 41 Taf. (Veröff. d. Hamburgisch-Preuss. Landesplanungsschusses 4.)
 * Schumann, J.: Spaten-jungens! Berlin, 1932. 64 S. (Bücherei d. Arbeitsdienstes. 1.)
 * Tanchnitz, H.: Grundlagen, Methoden und Ziele der gegenwärtigen amerikanischen Negierungshung. Borna-Leipzig, 1922. V, 109 S.
 * Voigt, A., K. Scharping u. K. Gieseler: Der Lagerführer im K. A. D. Erfahrungen u. Berichte aus d. ersten dt. Führerschulungslager f. d. Freiwill. Arbeitsdienst. in Grensinghof, Steinh. Steinh. 1932. 47 S.
 * Wagner, K.: Dürfen wir noch bauen? Berlin, 1933. 96 S. (Schr. d. Lt. Vereins f. Wohnungsreform. 11.)
 * Wiedorf, A.: Berufs- und Lebensschicksale erwirtschaftsruhrter Frauen in Köln. Berlin, 1932. 67 S.
 * Lamm, M.: Überblick über neuer Literatur auf dem Gebiet

der sozialen Fürsorge. (Archiv f. Sozialwiss. u. Sozialpolitik. 69, 1. 80-95. April 1933.)
 Dix, A.: Wege zur Arbeitsbeschaffung. (Preussische Jahrbücher 232-1, S. 63-68. April 1933)

【統計・年鑑】

* 商工省日本經驗生命表 菊判大 生命保險會社協會
 * 日本地理統計總覽 山本熊太郎著 菊判 古今書院
 * 公債社債年鑑(昭和八年度) 菊判 野村證券會社
 * 農業統計(其の五)(シヤキ一ノ四) 昭和八年 四、一八〇—一八三頁 南滿洲鐵道株式會社經濟調查會
 * 農業統計(其の六)(シヤキ一ノ四) 昭和八年 五、一七三—一七五頁 聯邦事情、四卷五號、昭和八年、
 * Alkerman, J.: Industriförbundets produktionsindex. Stockholm, 1932. 75 S.
 * Bernstein, F.: Über die Beobachtungswirtschaft in der Statistik. 1932. 8 S.
 * Frisch, R.: Pitfalls in the statistical construction of demand supply curves. Leipzig, 1933. 39 S.
 * Hundert Jahre Bayerisches Statistisches Landesamt. Hrsg. vom Bogen Statist. Landesamt. München: 1933. 192 S.
 * Hwang-Tsong: Methode und Ergebnisse der neuesten Bevölkerungszählung Chinas. Leipzig, 1933. 77 S.
 * Sautmann K.: Statistische Massstäbe des Gemeindliche Steuerkraftausgleichs. Nürnberg, 1932. 11 S.
 * Schwarz, René: Kreditbankstatistik. Frankfurt, 1931. 95 S.

* Platzer, H.: Statistical errors and calendar reform. N. Y. 1932. 14 S.
 * Philip, M.: The principles of financial and statistical mathematics. N. Y. 1932. 405 S.
 * Wolf, H.: Die Fiktion in die Statistik. Berlin, 1932. 17 S.
 * Statistische Übersichten über die Wirtschaftlage einzelner Länder. (Jahrbuch f. Nationalökonomie u. Statistik, 138. 4. 589-598. April 1933)